

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 論

発行日 R3. 9. 9
発行ナンバー 869号
(松本主将の代・・・17号)

試合結果 (秋季南部地区大会) 地区代表決定戦

9月8日 (水) ~市営浦和球場~

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
市立浦和	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
朝霞西	0	1	0	0	0	0	0	5	×	6

8日 (水)、地区の代表決定戦が行われました。

結果は上記の通りで、県大会出場を逃すという形になりました。

新チーム当初からの課題である「攻撃力のなさ」が出てしまった試合でした。

(シード校相手にバッテリーはしぶとく投球し、終盤まで1失点でしのいでいただけに・・・)

打つ(振る)力、走る力、飛ばす力、エンドラン時のバッティング、バントなど小技の精度も・・・

この辺を向上させないと (この代は) 今後の大会も厳しいかな・・・と思います。

(11月に市民大会がありますが) これで令和3年度の高野連主催公式戦は終了となりました。今年度は思うような戦いをすることができませんでした。しっかりと反省し、どのようにしたら令和4年度に巻き返すことができるのかを考えて、今後のチームづくりをしていきたいと思っています。

大会を実施していただいたことには感謝しなければなりません、(高校野球なのに) スタンドに誰もいないというのは本当に寂しいものです。早く正常な本来の高校野球に戻ることを願います。

長いオフシーズンとなりますが、根気強く練習に取り組んでいきたいと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。

ファールボール

この地区大会、私は浦和と川口の球場担当をしましたが、実は、ファールボールの回収(打球がネットを越えて場外にいき、探さなければならない)が大変でした。ファールボール1つとっても、そのチームの「スイング力」(バットがボールにぶつかる衝撃の強弱)がわかるのではないのでしょうか。市高の試合でそういうシーンを見たことがないということは・・・

試合で起きていることがすべてを物語っています。

ファールボールにも変化を求めたいと思います。

今後の予定について

緊急事態宣言中の部活動は、平日のみで週2日(1日90分以内)というルールになっています。宣言が延長されるようなので、その期間中、休祭日の活動(練習・練習試合共に)は行いません。個人単位で取り組むこととなります。

このような中で、成果をあげることのできる部員達であって欲しいと思います。